

令和4年度
高山駅西地区まちづくりアンケート調査
—報告書—

令和4年8月

高山市

目次

第1章 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の期間	1
3	調査の項目	1
4	調査の方法	1
5	回収結果	1
6	標本の構成	2
7	その他	2

第2章 調査結果の分析

1	高山駅西地区を訪れる頻度	3
2	高山駅西地区に期待する機能（施設）	3
3	高山駅西地区のまちづくりに関するご意見など	12

第1章 調査の概要

1 調査の目的

高山駅西地区まちづくり構想策定に向けた市民意識の把握等

2 調査の期間

令和4年6月1日～7月13日

3 調査の項目

高山駅西地区のまちづくりについて

- ・高山駅西地区に訪れる頻度
- ・高山駅西地区に期待する機能（施設）
- ・高山駅西地区のまちづくりに関するご意見など（自由記述）

4 調査の方法

調査地域 高山市内全地域

実施方法 窓口・郵送・インターネットによる回答、無記名式

調査対象 特段の制限無し

周知方法 ホームページ・メール・SNS 配信によるほか、公共施設（市役所庁舎など）でのポスター掲示、市内中学校・高等学校・関係機関への依頼（ポスター掲示、チラシ配布）、高山駅周辺やイベントなどでの調査協力の呼びかけなど

5 回収結果

回収数 967人

6 標本の構成

		件数 (件)	構成比 (%)
年代	10代	541	55.9
	(小学生以下)	5	(0.5)
	(中学生)	261	(27.0)
	(高校生)	272	(28.1)
	(その他)	3	(0.3)
	20代	33	3.4
	30代	64	6.6
	40代	139	14.4
	50代	100	10.3
	60代	60	6.2
	70代以上	28	2.9
無回答	2	0.2	

		件数 (件)	構成比 (%)
家族構成	単身世帯	40	4.1
	夫婦のみ	86	8.9
	二世帯世帯	539	55.7
	(うち中学生以下の子と同居)	(330)	(34.1)
	三世帯世帯	294	30.4
	(うち中学生以下の子と同居)	(202)	(20.9)
	その他※1	5	0.5
	無回答	3	0.3
	駅西の利用頻度	ほぼ毎日	217
週に1, 2回程度		226	23.4
月に1, 2回程度		253	26.2
年に数回程度		117	12.1
ほとんど行かない		152	15.7
無回答		2	0.2

※1 その他の内容：兄弟と同居、四世代世帯 など

7 その他

- ・この報告書における「回答率」は、次の計算式により算出している。

$$\text{回答率} = \text{回答数} / \text{標本数}$$

回答率は百分率（％）で、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計値が必ずしも100％とならない。また、2つ以上の回答を求めたものについての合計値は100％を超える。

- ・この報告書における「H30（前回調査）」は、高山駅西地区まちづくり基礎調査における、市民アンケートとして実施したものであり、調査方法や調査項目について、今回のアンケートと一部相違する。

★H30（前回調査）概要

1 調査概要

高山市第八次総合計画の計画期間における市民意識の経年比較、評価検証等の一環として実施

2 調査の期間

平成30年5月18日～6月8日

3 調査の項目（高山駅西地区のまちづくりに関わる部分を抜粋）

高山駅西地区のまちづくりについて

- ・高山駅西地区に訪れる頻度
- ・高山駅西地区に訪れる目的
- ・高山駅西地区の将来的なイメージ
- ・高山駅西地区に期待する機能（施設）

4 調査の方法

調査地域 高山市内全地域

実施方法 郵送による配布・回収、無記名式

調査対象 18歳以上の市民、3,000人

抽出方法 平成30年5月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出

5 回収結果

発送数 3,000人

回収数 1,453人

回収率 48.4%

6 標本の構成

		件数 (件)	構成比 (%)
年齢	10・20代	93	6.4
	30代	130	8.9
	40代	205	14.1
	50代	222	15.3
	60代	337	23.2
	70代以上	447	30.8
	無回答	19	1.3

第2章 調査結果の分析

1 高山駅西地区に訪れる頻度

問① あなたは、駅西地区にどのくらいの頻度で訪れますか。（1つに○印）

		件数 (件)	構成比 (%)
駅西の 利用 頻度	ほぼ毎日	217	22.4
	週に1、2回程度	226	23.4
	月に1、2回程度	253	26.2
	年に数回程度	117	12.1
	ほとんど行かない	152	15.7
	無回答	2	0.2

2 高山駅西地区に期待する機能（施設）

問② 駅西地区にどのような機能（施設）を期待しますか。下記のすべての項目について、それぞれあてはまるものを選んでください。（それぞれの設問ごとに1つに○印）

《順位》

○期待度の高い機能は、高い順に「娯楽機能」（91.8%）、「商業機能」（89.7%）、「公園と広場」（84.6%）となっている。

○期待度の低い機能は、低い順に「居住機能」（45.5%）、「宿泊機能」（47.1%）、「業務機能」（54.3%）となっている。

《自由記述欄における具体的機能・施設の分析》

○「娯楽機能」については、映画館がほしいという意見が105件と最も多く、動植物園・水族館などの展示施設が23件、その他、カラオケやボーリングなどの複合的な遊戯施設などの個別意見が28件あった。

○「商業機能」については、複合的商業施設（ショッピングセンター・地下街など）がほしいという意見が86件と最も多く、カフェやレストランなどの飲食店（チェーン店含む）が33件、その他、本屋や雑貨屋などの個別意見が46件あった。

○「公園と広場」については、大規模な公園、広場、イベント会場、屋内型の子どもの遊び場などがほしいという意見が26件あった。

《H30（前回調査）との比較》

○1位から3位までは、前回（H30）の調査結果と項目は同じであるが、1位であった「公園や広場」が3位に下降した。

○下位3位については、前回（H30）の調査結果と同じ項目、同じ順となっている。

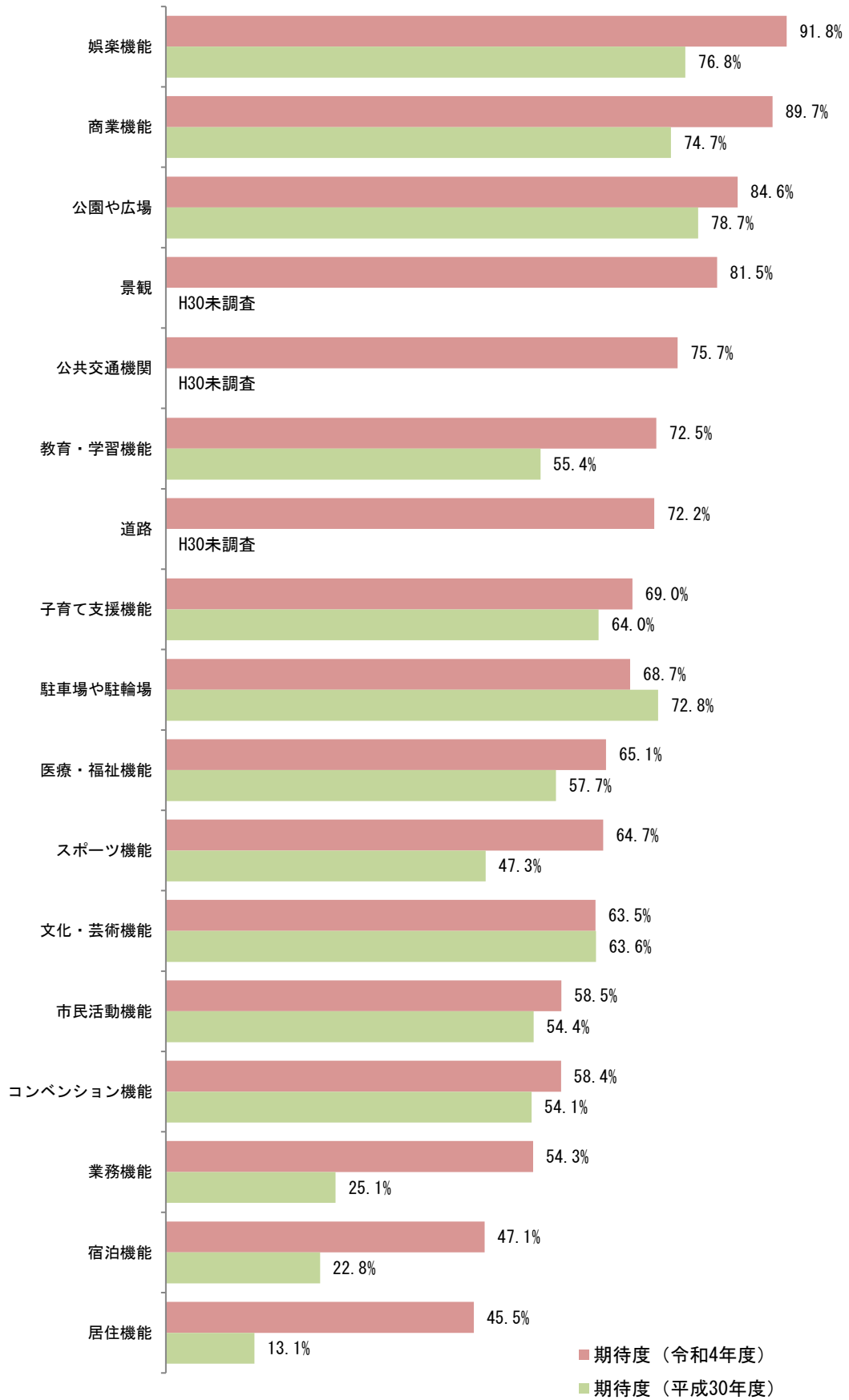
○「教育・学習機能」、「スポーツ機能」は、前回調査と比べて大きく順位が上がっている（今回追加した項目を除いて比較）。

$$\text{期待度} = \frac{\text{「期待する」、「やや期待する」の合計}}{\text{「期待する」、「やや期待する」、「あまり期待しない」、「期待しない」の合計}}$$

(期待度の算出方法)

順位	期待度 (%)	機能	回答数 (件)					H30 (参考)	
			期待する	やや期待する	あまり期待しない	期待しない	無回答	順位	満足度 (%)
1	91.8%	娯楽機能 (映画館、劇場など)	792	93	55	24	3	2	76.8
2	89.7%	商業機能 (商品販売店、飲食店など)	691	173	54	45	4	3	74.7
3	84.6%	公園や広場	616	200	93	56	2	1	78.7
4	81.5%	景観	628	153	99	78	9	—	—
5	75.7%	公共交通機関	580	148	120	114	5	—	—
6	72.5%	教育・学習機能 (専門学校、図書館など)	492	208	157	108	2	9	55.4
7	72.2%	道路	552	143	133	134	5	—	—
8	69.0%	子育て支援機能 (保育所、児童センターなど)	450	215	165	134	3	5	64.0
9	68.7%	駐車場や駐輪場	487	175	166	136	3	4	72.8
10	65.1%	医療・福祉機能 (診療所、介護サービス施設など)	449	178	198	138	4	7	57.7
11	64.7%	スポーツ機能 (トレーニングジムなど)	452	172	191	150	2	11	47.3
12	63.5%	文化・芸術機能 (美術館、博物館など)	444	169	199	153	2	6	63.6
13	58.5%	市民活動機能 (市民サークルの活動の場など)	363	201	215	185	3	8	55.4
14	58.4%	コンベンション機能 (会議場、展示場など)	365	199	213	188	2	10	54.1
15	54.3%	業務機能 (オフィス、作業所など)	307	216	250	190	4	12	25.1
16	47.1%	宿泊機能 (ホテルなど)	322	132	212	297	4	13	22.8
17	45.5%	居住機能 (マンションなど)	297	142	254	271	3	14	13.1

(単位：%)



属性別集計（年齢別）

① 期待度（%表記）

		年代							
		10代	中学生以下	高校生以上	20代	30代	40代	50代	60代以上
標本数（件）		541	(266)	(275)	33	64	139	100	88
期待度（%）	娯楽機能	97.6	97.0	98.2	90.9	89.1	84.2	83.8	79.3
	商業機能	91.9	91.0	92.7	90.9	90.6	82.7	85.9	90.7
	公園や広場	83.7	88.3	79.3	84.8	85.9	81.3	90.0	88.4
	景観	81.9	88.0	76.0	72.7	79.4	77.7	83.8	89.0
	公共交通機関	74.1	80.1	68.4	75.8	79.7	75.5	76.8	82.4
	教育・学習機能	76.0	84.2	68.0	72.7	64.1	68.3	65.7	72.4
	道路	70.1	79.3	61.1	69.7	76.6	76.3	69.7	80.0
	子育て支援機能	64.5	70.3	58.9	81.8	79.7	67.6	74.7	79.1
	駐車場や駐輪場	64.7	74.4	55.3	72.7	62.5	72.7	83.0	72.9
	医療・福祉機能	67.7	76.7	58.9	66.7	48.4	54.7	64.6	80.0
	スポーツ機能	72.5	78.2	66.9	54.5	60.9	48.2	51.5	65.5
	文化・芸術機能	64.1	74.1	54.5	69.7	53.1	56.8	64.0	74.4
	市民活動機能	53.0	60.0	46.2	54.5	53.1	64.0	68.0	80.2
	コンベンション機能	52.3	59.0	45.8	66.7	43.8	66.9	73.0	73.3
	業務機能	59.0	62.4	55.6	42.4	40.6	46.0	52.5	55.3
	宿泊機能	56.4	69.9	43.3	48.5	31.3	29.5	36.4	42.4
居住機能	52.3	65.0	40.0	42.4	29.7	33.1	41.4	41.9	
平均	69.5	76.3	62.9	68.1	62.9	63.9	68.5	73.4	

※期待度が70.0%を超える項目を網掛け

【分析】

- ・10代のうち中学生以下の期待度は全体的に高く、平均約76%となっているが、高校生は全体的に低く、平均約63%となっている。
- ・20代～50代の期待度は、平均約63%～69%で比較的低くなっている。
- ・60代以上の期待度は、平均約73%で比較的高くなっている。

② 期待度（順位表記）

		年代						
		中学生以下	高校生以上	20代	30代	40代	50代	60代以上
標本数（件）		266	272	33	64	139	100	88
期待度（順位）	娯楽機能	1	1	1	2	1	3	8
	商業機能	2	2	1	1	2	2	1
	公園や広場	3	3	3	3	3	1	3
	景観	4	4	6	6	4	3	2
	公共交通機関	6	5	5	4	6	6	4
	教育・学習機能	5	6	6	8	8	11	13
	道路	7	8	9	7	5	9	6
	子育て支援機能	12	9	4	4	9	7	9
	駐車場や駐輪場	10	12	6	9	7	5	12
	医療・福祉機能	9	9	11	13	13	12	6
	スポーツ機能	8	7	13	10	14	15	14
	文化・芸術機能	11	13	9	11	12	13	10
	市民活動機能	16	14	13	11	11	10	5
	コンベンション機能	17	15	11	14	10	8	11
	業務機能	15	11	16	15	15	14	15
宿泊機能	13	16	15	16	17	17	16	
居住機能	14	17	16	17	16	16	17	

※赤色が濃い程順位が高く、青色が濃い程順位が低い

【分析】

- ・「娯楽機能」、「商業機能」、「公園や広場」は、ほぼ全ての世代で1位から3位になっているが、60代以上の「娯楽機能」は8位となっている。
- ・「景観」、「公共交通機関」は、全ての世代で3位から6位になっているが、60代以上の「景観」は2位となっている。
- ・「教育・学習機能」は、20代以下では5位～6位、30代～40代では8位となっている一方、50代以上では11位～13位と比較的低くなっている。
- ・「道路」は全ての世代で5位～9位になっている。
- ・「子育て支援機能」は、20代～30代では4位、50代以上では7位となっている一方、中学生以下では12位と比較的低くなっている。
- ・「駐車場や駐輪場」は、50代では5位、20代では6位、40代では7位となっている一方、高校生以下は10位～12位、60代以上では12位と比較的低くなっている。
- ・「医療・福祉機能」は、50代以下では9位～13位となっている一方、60代以上では6位と比較的高くなっている。
- ・「スポーツ機能」は、高校生以下では7位～8位となっている一方、20代以上は10位～15位と比較的低くなっている。
- ・「文化・芸術機能」は、全ての世代で9位～13位になっている。
- ・「市民活動機能」は、60代以上では5位となっている一方、その他の世代では10位から16位と比較的低くなっている。
- ・「コンベンション機能」は、50代では8位となっている一方、その他の世代では10位～17位と比較的低くなっている。
- ・「業務機能」、「宿泊機能」、「居住機能」は、全ての世代で11位～17位になっている。

属性別集計（家族構成別）

① 期待度（%表記）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ世帯	二世代世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世代世帯	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数(件)		40	86	539	(330)	294	(202)	5
期待度(%)	娯楽機能	80.0	80.0	92.9	93.6	95.2	93.1	100.0
	商業機能	82.1	89.4	88.8	89.7	92.5	90.6	100.0
	公園や広場	92.5	82.6	84.4	86.4	85.0	85.1	80.0
	景観	85.0	83.3	80.5	80.3	83.0	83.7	60.0
	公共交通機関	82.5	71.8	74.3	73.0	78.6	80.2	80.0
	教育・学習機能	75.0	62.8	72.6	76.7	75.5	78.2	60.0
	道路	72.5	73.8	71.5	71.2	73.1	75.7	80.0
	子育て支援機能	72.5	66.3	69.0	68.5	69.0	71.3	80.0
	駐車場や駐輪場	72.5	72.9	68.2	66.4	67.7	67.8	80.0
	医療・福祉機能	60.0	63.5	63.6	63.0	69.0	70.8	80.0
	スポーツ機能	60.0	52.3	64.6	66.1	69.7	67.3	60.0
	文化・芸術機能	72.5	65.1	63.3	61.8	62.6	62.4	60.0
	市民活動機能	62.5	66.3	58.2	55.9	56.8	58.9	40.0
	コンベンション機能	65.0	62.8	59.6	56.4	54.4	52.5	60.0
	業務機能	55.0	44.2	56.0	57.0	55.1	54.0	20.0
	宿泊機能	42.5	42.4	44.8	46.7	54.1	55.0	40.0
居住機能	47.5	32.6	46.5	47.0	47.6	48.5	40.0	
平均	69.4	65.4	68.2	68.2	69.9	70.3	65.9	

※期待度が70.0%を超える項目を網掛け

【分析】

- ・夫婦のみの世帯の期待度は、平均約65%と比較的低くなっている。
- ・単身世帯、二世代世帯、三世代世帯の期待度は、平均約68%~70%と比較的高くなっている。

② 期待度（順位表記）

		家族構成					
		単身世帯	夫婦のみ世帯	二世帯世帯	（うち中学生以下の子と同居）	三世帯世帯	（うち中学生以下の子と同居）
標本数(件)		40	86	539	(330)	294	(202)
期待度（%）	娯楽機能	5	4	1	1	1	1
	商業機能	4	1	2	2	2	2
	公園や広場	1	3	3	3	3	3
	景観	2	2	4	4	4	4
	公共交通機関	3	7	5	6	5	5
	教育・学習機能	6	12	6	5	6	6
	道路	7	5	7	7	7	7
	子育て支援機能	7	8	8	8	9	8
	駐車場や駐輪場	7	6	9	9	11	10
	医療・福祉機能	13	11	11	11	9	9
	スポーツ機能	13	14	10	10	8	11
	文化・芸術機能	7	10	12	12	12	12
	市民活動機能	12	8	14	15	13	13
	コンベンション機能	11	12	13	14	15	16
	業務機能	15	15	15	13	14	15
	宿泊機能	17	16	17	17	16	14
	居住機能	16	17	16	16	17	17

※赤色が濃い程順位が高く、青色が濃い程順位が低い

【分析】

- ・「娯楽機能」は、単身世帯、夫婦のみの世帯では4位～5位となっているが、二世帯世帯、三世帯世帯では1位と特に高くなっている。
- ・「商業機能」は、単身世帯では4位となっているが、夫婦のみの世帯では1位、二世帯世帯、三世帯世帯では2位と特に高くなっている。
- ・「公園や広場」は、夫婦のみの世帯、二世帯世帯、三世帯世帯では3位となっているが、単身世帯では1位と特に高くなっている。
- ・「景観」は全ての構成において、2位～4位となっている。
- ・「公共交通機関」は、単身世帯では3位となっているが、その他の構成では5位～7位となっている。
- ・「教育・学習機能」は、単身世帯、二世帯世帯、三世帯世帯では5位～6位となっているが、夫婦のみの世帯では11位と比較的低くなっている。
- ・「道路」は、夫婦のみの世帯は5位となっているが、その他の構成では7位となっている。
- ・「子育て支援機能」は、全ての構成において、7位～9位となっている。
- ・「駐車場や駐輪場」は、夫婦のみの世帯では5位、単身世帯では7位となっているが、二世帯世帯では9位、三世帯世帯では11位と比較的低くなっている。
- ・「医療・福祉機能」は、全ての構成において、9位～13位となっている。
- ・「スポーツ機能」は、三世帯世帯では8位となっているが、その他の構成では10位～14位と比較的低くなっている。
- ・「文化・芸術機能」は、単身世帯では7位となっているが、その他の構成では10位～12位と比較的低くなっている。
- ・「市民活動機能」は、夫婦のみの世帯では8位となっているが、その他の構成では12位～15位と比較的低くなっている。
- ・「コンベンション機能」、「業務機能」、「宿泊機能」、「居住機能」は、全ての構成において、11位～17位となっている。

属性別集計（駅西の利用頻度別）

① 期待度（%表記）

		駅西の利用頻度				
		ほぼ毎日	週に1、2回程度	月に1、2回程度	年に数回程度	ほとんど行かない
標本数(件)		217	226	253	117	152
期待度 (%)	娯楽機能	93.1	90.3	89.7	91.5	96.1
	商業機能	89.3	92.5	91.3	83.8	88.1
	公園や広場	83.8	81.9	88.1	82.9	85.5
	景観	81.2	77.2	83.3	82.1	84.9
	公共交通機関	76.3	71.6	77.8	76.9	77.0
	教育・学習機能	74.7	63.7	74.2	70.9	81.6
	道路	67.3	68.6	75.0	70.9	81.6
	子育て支援機能	66.4	65.8	75.4	63.2	71.1
	駐車場や駐輪場	63.7	63.3	74.7	70.9	72.4
	医療・福祉機能	63.9	55.8	70.6	61.5	74.3
	スポーツ機能	65.0	60.2	65.5	59.0	74.3
	文化・芸術機能	59.7	57.1	65.6	68.4	71.7
	市民活動機能	52.8	56.2	63.9	56.4	62.5
	コンベンション機能	55.1	56.6	62.1	59.0	59.2
	業務機能	54.2	52.7	56.0	47.4	59.9
	宿泊機能	38.1	40.7	47.6	54.7	62.5
	居住機能	42.6	37.2	46.8	46.2	59.9
平均	66.3	64.2	71.0	67.4	74.3	

※期待度が70.0%を超える項目を網掛け

【分析】

- ・「月に1～2回程度」、「ほとんど行かない」は、期待度が平均約71～74%と比較的高くなっている。
- ・「ほぼ毎日」、「週に1～2回程度」、「年に数回程度」は、期待度が平均約64%～67%と比較的低くなっている。

② 期待度（順位標記）

		駅西の利用頻度				
		ほぼ毎日	週に1、2回程度	月に1、2回程度	年に数回程度	ほとんど行かない
標本数(件)		217	226	253	117	152
期待度(%)	娯楽機能	1	2	2	1	1
	商業機能	2	1	1	2	2
	公園や広場	3	3	3	3	3
	景観	4	4	4	4	4
	公共交通機関	5	5	5	5	7
	教育・学習機能	6	8	9	6	5
	道路	7	6	7	6	5
	子育て支援機能	8	7	6	10	12
	駐車場や駐輪場	11	9	8	6	10
	医療・福祉機能	10	14	10	11	8
	スポーツ機能	9	10	12	12	8
	文化・芸術機能	12	11	11	9	11
	市民活動機能	15	13	13	14	13
	コンベンション機能	13	12	14	12	17
	業務機能	14	15	15	16	15
宿泊機能	17	16	16	15	13	
居住機能	16	17	17	17	15	

※赤色が濃い程順位が高く、青色が濃い程順位が低い

【分析】

- ・「娯楽機能」、「商業機能」は全ての頻度で1位～2位となっている。
- ・「公園や広場」は、全ての頻度で3位となっている。
- ・「景観」は、全ての頻度で4位となっている。
- ・「公共交通機関」は、「ほとんど行かない」で7位となっているが、その他の頻度で5位となっている。
- ・「教育・学習機能」は、「ほぼ毎日」～「年に数回程度」で6位～9位となっているが、「ほとんど行かない」で5位と特に高くなっている。
- ・「道路」は、「ほぼ毎日」～「年に数回程度」で6位～7位となっているが、「ほとんど行かない」で5位と特に高くなっている。
- ・「子育て支援機能」は、「ほぼ毎日」～「月に1、2回程度」で6位～7位となっているが、「年に数回程度」以下では10位～11位となっている。
- ・「駐車場や駐輪場」は「年に数回程度」では6位となっているが、その他の頻度では8位から11位と比較的低くなっている。
- ・「医療・福祉機能」は、「ほとんど行かない」では8位となっているが、その他の頻度では10位～14位と比較的低くなっている。
- ・「スポーツ機能」は、「ほとんど行かない」では8位となっているが、その他の頻度では9位～12位と比較的低くなっている。
- ・「文化・芸術機能」は、全ての頻度において、9位～12位となっている。
- ・「コンベンション機能」は「ほぼ毎日」～「年に数回程度」では12位～14位となっているが、「ほとんど行かない」では17位と特に低くなっている。
- ・「市民活動機能」、「業務機能」、「宿泊機能」、「居住機能」は全ての頻度において、13位～17位となっている。

3 高山駅西地区のまちづくりに関するご意見など（自由記述）

問③ その他、ご意見、ご提案や問②の回答に対する補足などありましたら、ご自由にご記入ください。

まちづくり全体に関すること
・古いものだけでなく、新しいもので人が呼べる高山市になってほしい。
・高齢者になっても、誰にも迷惑をかけることなく、学び続けることのできるまち、活動できるまちづくりまちにしてほしい。
・高山の10年、20年先を見据えた開発をしてほしい。
・市民、企業の声聞いた方がよい。
・子どもを育てながら働く者の声を重視して、5年10年には必ず実現して夢を叶えてもらいたい。
・高山は観光に力を入れているが、住民からの満足度は低い。
・若者に市の未来像を真剣に考えてもらいビジョンを描いて活躍してほしい。
・中学生や高校生が地元を基盤に活躍している30代40代の若者や経営者と高山市を語り合うシンポジウムの開催など、若者に高山を住み良いまちに再生する熱意を持ってもらいたい。
・警察署、法務局、税務署などの跡地は更地であり、市場や卸商業センター、高山赤十字病院も老朽化が進んでいる。高山の土地利用を総合的に考えなければ、この先50年、100年の将来に遺恨を残すかもしれない。総合的な土地のマネジメントが必要なタイミングなのではないか。
・新たな投資・施設整備により、この先も安心して暮らしていける高山市となるまちづくりをしてほしい。
・観光だけでは先が見えている。
・観光に力を入れてほしい。
・子育てに対して閉鎖的である。
・背伸びをやめて、誰かに頼り切りにならず、身の丈にあった生活・仕事ができるまちにしてほしい。
・計画的な大規模開発や道路整備などにより、次世代へより良い住環境を提供すべき。
・駅周辺の整備は必要なく、市内のバス本数を増やし、土日祝に運行をする、20歳まで医療費を無料にする、医療従事者や介護施設のスタッフの待遇を良くするなどといったことに目を向けてほしい。
・これから税収が減るなか、居住環境を向上させるのは、施設を作って、負の遺産を未来の子どもたちに押し付けるのではなく、市民の負担を減らすことである。
・駅西地区のまちづくりには命をかけていただきたい。
・早く駅西地区の開発に取り掛かってもらいたい。
・新しい文化会館（商業施設や市民活動施設などを含めた複合施設を希望）を中心に、文化会館の駐車場（立体タイプ）も含め、高山市街地への市民や観光客が流れる交通結節点となるパークアンドライドの拠点エリアとなることを期待している。
・建て替え時期が迫っている施設だけでなく、民間会社（タクシー等）も含めて、エリア全体をリセットした適正な配置を考えてはどうか。
・土地や建物の有効活用ができるようにしてほしい。
・地上や地下を有効に使った方がいい。
・多くの複合的な要素を集約し、より幅広い年代の方々にアプローチできる素地が、駅西地区には埋まっていると思うため、ぜひ単一の機能に特化するのではなくオーバーオールで「エリア」としての特色を打ち出してほしい。
・若い人が集まれるエリアとしてほしい。
・中途半端な施設は必要なく、エリア全体の統一感なども考えてもらいたい。
・合同庁舎や文化会館の駐車場を含めた静かな空間でよい。
・他県から人が移住してくるような魅力的なまちづくりが必要である。
・東側は観光客向けエリアとしつつ、西側は東側とは別の商業区として若者向けのエリアになればよい。

・ 駅東エリアが観光おもてなしセントラルに対して、西エリアは市民おもてなしセントラルとしてまちづくりを進める。
・ 駅東地区は観光客や観光目的のエリアとし、住み分けができていると良い。
・ 市民のためのエリアとしてほしい。
・ 駅東は、観光の色合いが強い。一方、駅西は自由通路のおかげで市民の駅利用にとっても役立っている。鉄道利用者の大半は観光客や通学者が占めているなか、あらゆる利用者が市民と同じ感覚で訪れる場所が駅西と考える。
・ 駅西地区は、観光客とすみわけし、市民生活向上の場にしてほしい。
・ 市の方向性は個人住宅に市の施設が入り込んで地区が分断されている感じがする。
・ 飛騨高山の良さを出すことも必要だが、何より若者が買い物をしたり、働いたり、楽しんだりできる場所があることで魅力ある地元だと感じてほしい。
・ 素朴で伝統的なエリアにしてほしい。
・ 西側は市民にとって魅力的な場所に変えていく必要がある。
・ 学生や子育て世代など、若い層にアプローチできるまちづくりとし、飛騨地域の経済を回す中心的立ち位置としてもらいたい。
・ 住環境向上のため、観光客が来ない地域にしてほしい。
・ 高山出身の人が活躍できる場がほしい。
・ 車の運転ができない方に便利な多機能のまちづくりをしてほしい。
・ 国際観光都市として世界に誇れる飛騨高山らしい空間づくりを目指すべきである。
・ 他都市の人々が住んでいるのを羨ましく思うような、観光客向けではない市民の方を向いた計画にしてほしい。
・ 市民の多くが集える場所となると良い。
・ 住民目線も大事だが、高山に観光で来るお客様目線からも考えてほしい。
・ ホテルや宗教施設などが駅の近くにあるのは、土地利用的には無駄である。
・ 居住している住民としては、大半の人は、ここを終の棲家としており、活性化を望みまない。静かにしてほしいのが大半の意見だと感じる。住民の立ち退きがない計画としていただきたい。
・ 小さい子が遊ぶ場所の充実や、妊婦さんや高齢者が住みやすいまちづくりを期待する。
・ 無駄な施設ではなく、活かした施設を作ってほしい。
・ 日本、高山らしい施設としてほしい。
・ 出店するなら、日本製にこだわってほしい。
・ 観光客ではなく、市民のための施設としてほしい。
・ 今ある施設をもっと多くの使い道ができるよう改善してもらいたい。
・ 必要最小限の仕方なく作った建物ではなく 市民が不満に思わないようにしてほしい。
・ 写真が撮りたくなるオシャレな施設（市民が自慢できるセンスのいい素敵な建物やエリア）にしてほしい。
・ 建物の内部には木材をたくさん使ってほしい。
・ 飛騨では唯一無二のものを作ってほしい。
・ 少子化が進んでいるため、できるだけ諸施設をコンパクトに効率のよく駅周辺に集めてはどうか。
・ 施設をつくる際には、社会情勢の変化に合わせてフレキシブルに機能を変更できるようなものをつくってほしい。
・ 施設を作るなら、専用の利用方法ではなく、用途を限定せずに様々に使いまわせ、稼働率の高い、利益の出る施設としてほしい。
・ 都会から駅西地区までストレスフリーで入れる施設の整備が必要である。
・ 公共交通を利用し郊外や支所地域から来られる方が利用できる公共的な施設の設置を期待。
・ 施設で働く人の正規雇用をお願いしたい。
・ 味まつりのようなイベントを駅西交流広場で行うのはどうか。
・ 空家問題を解決するために、補助金の交付による空家の解体を促すことで、更地の新規活用を図れば良い。

<ul style="list-style-type: none"> ・長年放置されていて、相続主が不明で、固定資産税が滞納されている空家などの不動産は市が収容できる条例を策定すべきである。構築物は解体撤去のうえ、他物件と交換することで土地を集約したり売却することにより、大規模開発を可能にしたり、解体撤去費用を捻出すると良い。
<ul style="list-style-type: none"> ・古い町並などの貴重な文化遺産を後世へと継承できる財力を維持できるように、人口の確保、財政が潤うような経済施策の実施などの取組みを進めるべき。
<ul style="list-style-type: none"> ・広く市民全体が「とりあえず駅西に行こうか」と思えるしくみづくりが必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・自然、環境を守るため、必要以上の大規模な建築は避けてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館、映画館、スポーツ施設などあれば、充実した暮らしができるとも思うが、望めばきりがないため、新たな整備は必要ない。
<ul style="list-style-type: none"> ・「交流促進」名目の新規の施設は必要ない。
<ul style="list-style-type: none"> ・車の交通量をおさえるためには、大型施設は制限して配置しないようにするべき。
<ul style="list-style-type: none"> ・国道 41 号沿線から南北に延びる駅西エリアに商業機能の集積が移動し、慢性的に交通量が過多となっているため、商業機能、業務機能の拡大、市民交流・生活支援拠点は無理がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・これ以上、行政が施設を作る必要は無く、若い世代で文化会館や福祉会館を必要としている人はいないと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・居住地域として静かに暮らしている人たちがいるので、賑わいと両立させることが難しいと感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・利用している施設が全て駅西に集中するのは、車利用者にとっては不便である。
<ul style="list-style-type: none"> ・道路が渋滞するような施設などは期待しない。

商業機能に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ・駅東と対をなす高山の顔なので、飛騨高山の伝統とは違った意味で人の集められる施設やそれに伴う飲食店などができて、外から来る人にも賑わいを感じられる新しさを持った地区ができないかと期待している。
<ul style="list-style-type: none"> ・車での観光客は、直接、古い町並近くへ行けるため、駅周辺の活性化につながっていない。市民も駅西のほうが、買い物や遊びなどで周遊しやすい。
<ul style="list-style-type: none"> ・商業機能は駅東地区と重複しないよう整理が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・イベントができる過剰な商業機能の誘致は、中心市街地の空洞化を招く恐れがあるため配慮が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・駅東地区の朝日町のような雰囲気のある場所が駅西地区に無い。
<ul style="list-style-type: none"> ・産地直売店のような集客が見込める施設がほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・大型商業施設はいらない(混雑の原因、無法地区の呼水)。
<ul style="list-style-type: none"> ・既に駅周辺の飲食店や宿泊施設等で十分な供給量があり、これ以上の商業機能強化は供給過多、民業圧迫を招く。
<ul style="list-style-type: none"> ・行政主導の商業機能設営は、全国的にもうまくいって事例が稀であり、箱モノの維持管理が将来世代への負担となる可能性が高い。

娯楽機能に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ・若者の娯楽施設が少ない。
<ul style="list-style-type: none"> ・駅西でなくても市内に小さい子どもから大人まで楽しめるすごく広いアミューズメントパークがほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・娯楽施設は無駄である。

業務機能に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ・警察署の跡地に市役所的なものを集約してほしい。

市民活動機能に関すること

- ・市民活動機能については、既存施設(文化会館や村半の活用)で十分であり、さらに作る必要性は低い。(文化会館の建て替えとセットで考えるのであれば、市民活動・文化芸術機能は必要)

子育て支援機能に関すること

- ・児童館があるが、施設が老朽化していると感じる。
- ・児童館等の機能が必要である。
- ・複合施設内には、授乳スペースや子どもが昼寝をしたときに休憩できるスペースがあると、子ども連れでも家族で気軽に出かけられる。
- ・子どもが安全に自由に遊べるような施設があるといい。
- ・冬季に子どもが体いっぱい動かせる施設を整備してほしい。(富山県の太閤山ランドのような)
- ・子育て世帯を増やしたいのなら、子どもための施設の充実も図るべき。
- ・子どもたちが遊べる場所を確保してほしい。
- ・観光に来る人々が何回も高山に来たくなるような場所、子どもが楽しむことができる場所を整備してほしい。

医療・福祉機能に関すること

- ・市役所の福祉部門や福祉センターを駅西か、警察署や法務局の跡地に集約して移転してはどうか。現在の市役所の福祉課などは職員も多く、落ち着いて相談したり関係者が会議をするスペースもないので、余裕を持って確保してほしい。丸聞こえのカウンターで相談したくない。

教育・学習機能に関すること

- ・学校の部活動の形態が変わっても、ここに来ればやりたいことができる施設、指導者がいる、専門的な知識を持っている人がいるなどの環境を整えてほしい。高度な知識や技術を都会で学んだ人が地元に戻ってくる場所にもなる。
- ・高校生が学校帰りに電車待ちする際に、勉強することができたり、コミュニケーションがとれる場所があるといい。
- ・図書館については、支所にある分館のような位置付けの機能を持たせた小規模なものもいい。

文化・芸術機能に関すること

- ・音楽などの芸術文化活動が行える施設があれば、駅に近いという立地をうまくPRすることで、人が集まると考える。
- ・文化会館を新設して、文化芸術機能を充実させるべき。
- ・文教地区としての発展を望む。
- ・打合せ、美術館、文化会館、ホール音楽のみならず、舞台として使える2000人、500人、100人規模のものがそれぞれあるとよい。
- ・市民文化会館の建替えを優先してほしい。
- ・文化会館の機能を含む施設を新しく整備し、様々な活動の拠点となるよう貸し出しスペース(部屋)を十分に確保してほしい。
- ・高山市民文化会館の建て替えを早期に実現してほしい。
- ・文化会館のバリアフリー化(建替え)が必要である。
- ・駅から歩いて、郊外から車でアクセスできるような、商業施設や文化施設があるといいが、文化施設は利用する人やタイミングが関係者やイベントの時などで限られ、普段から日常的には利用しないため、文化施設のみが立ち並ぶというのは、どうかと思う。

宿泊機能に関すること

- ・現在以上にホテルは必要ない。
- ・観光客のためのホテルだけである。

公園や広場に関すること

- ・市街地に子どもが遊べる空間が非常に少ないため、公園機能の強化は、市民サービスに繋がるだけでなく、観光客からも歓迎されるものとする。
- ・駅西地区は観光客も地元民も多く訪れるため、高山らしい広々とした自然と共存した公園や施設があれば、近隣の県から訪れたい場所、住みたい場所として認知してもらえるのではないかと。
- ・屋根のついた屋外のステージなどが併設されると良い。
- ・春は桜、秋は紅葉などにより四季折々楽しめるようにしてほしい。
- ・駅西交流広場は、あまり活用されてない
- ・駅西交流広場の地面が熱いため、芝生や木をもっと植えてはどうか。

駐車場や駐輪場に関すること

- ・大規模立体駐車場などで駅周辺に利用者を取り込み、古い街並へ徒歩散策してもらう方が観光にも駅周辺の利便性にも貢献できる。
- ・駅西駐車場の位置、容量が現在のままでいいのかという検証が必要。
- ・安価な日貸し駐車場が増えれば、駅から遠い地区で暮らす市民にとって、鉄道や高速バスで遠方へ行きやすくなる。
- ・以前より地価が下がっており、パークアンドライドの推進には有利な状況となっている。
- ・コロナ禍において、観光客の自家用車利用も増え、駐車場の確保は急務である。
- ・駅西エリアには観光バスや自家用車が停められる駐車場を整備し、シャトルバスや周遊バスなどを利用する環境づくりが必要である。
- ・駅西駐車場は入庫時点で料金が発生するが、他府県では15分から30分は無料という所が多いため、見直してほしい。
- ・高山は車社会なのに駐車場が狭いところが多い。
- ・駐車場不足の解消(立体駐車場の整備)が必要である。
- ・観光バスや送迎バスなどの一時的な待機場所の設置が必要である。
- ・高山駅近くには、文化会館や福祉センター、図書館や公園など市民が集える場所を設け、施設を利用する方の駐車料金は無料としながら、観光客や列車利用者からはしっかり料金を頂くしくみとしてほしい。
- ・駐車場の確保と渋滞の対策が必要である。
- ・今の文化会館より広い駐車場がほしい。
- ・福祉センター、ぽっぽ公園を利用するときの駐車場が少ない。
- ・駅西駐車場を無料開放してほしい。
- ・郵便局を移転し駐車場を整備してほしい。
- ・大規模な駐車場の整備を早期に実現してほしい。
- ・市民文化会館を含めて整備を考えるのであれば、最初に駐車場を考える必要がある。現在の飛騨地域で駐車場が無い施設は衰退する。
- ・市民文化センターを今の駅西駐車場の場所に移動し、駐車場は地下駐車場や立体駐車場にしてはどうか(除雪費の負担軽減だけでなく、天候に左右されず車から施設への移動ができる)。

公共交通機関に関すること

- ・公共交通については、交通事故のリスクを低減させることや、駅西地区の賑わいを高めるために、市内移動のみならず、広域的な移動についてもっと語られるべき。
- ・駅西ロータリーはバスが利用するには狭い。
- ・高山駅東西連絡通路表示について乗鞍口、白山口の表示がされているが、通路上では乗鞍岳も白山も見えないため、東口・西口と添え書きした方が良い。
- ・市街地全体の交通体系における駅西地区の役割の検討が必要である。
- ・バス事業については、高速バスとまちなみバスなどの路線バスが混在しており、まちなみバスの発着点は駅西にするなど、東西で分散できると良い。

道路に関すること

- ・回遊しやすい遊歩道の整備(目的がなくてもふらっと訪れたい気持ちになるようなエリア)。
- ・道路の拡張や排水溝の整備などを計画的に進めることで、豪雨などの災害に強いまちづくりをしてほしい。

景観に関すること

- ・日陰(アーケードなど)がある公園を整備し、夏はミストなどを出したり、冬はアーケードに透明な壁を作り、雪化粧をライトアップすることで、旅行にきた人も楽しむことができる景観になる。

複合機能に関すること

- ・利便性の高い地域のため、文化会館を駅西口と直結した施設としてほしい。
- ・子育て、医療、介護、市民活動は当事者が孤立せず、市民がお互いに助け合いができた、専門家と相談できる一体的なサポート施設を望む。
- ・病院と文化会館等の施設や子育て支援等を統合した施設を整備してほしい。
- ・市民プールなどの老朽化がひどいため、市民、特に子どものための充実した施設を作してほしい。他都市や他県に比べて恥ずかしいほど対応が遅れている。
- ・複合施設に1階部分は大型バスも入ることができる駐車場、2階部分は商業施設などがあれば市民にとって有用。
- ・駅を多く使用する若者や現役世代に重きをおいた大規模な図書館、書店があると知の拠点として栄える。あわせて交流の場となるとより良いと思う。
- ・文化会館に交流施設もその一部として合体した施設としてほしい。
- ・松本市にある信毎メディアガーデン(まちなか情報局、ホール、ショップ、カフェ、スタジオ、キッチン、レストラン、カルチャー、Free Wi-Fi、街ピアノ、シェアサイクル、広場等)に文化会館を足したような施設がほしい(観光客も訪れるが、基本的には市民のための施設というイメージ)。
- ・既存の文化会館をリニューアルする際に、アンケートで得られた結果の機能(施設)を加えた複合的な機能(施設)を整備してほしい
- ・若者向けの施設として村半があるが、駅から遠く、待ち時間に利用するには不便なため、駅西にも村半の2号店を作してほしい。
- ・老朽化した文化会館のバリアフリー化。高山駅とつながる通路の設置。
- ・駐車スペースを確保するため、駅西交流広場を2階～3階建に整備し、市民活動機能やスポーツ機能を1階部分で補完すれば、天候に左右されず活動やイベント等が実施できる
- ・駅西を成功させたいがために、駅東の魅力が低減してしまわないような整備とするため、文化・芸術、福祉、公園などの機能のゾーンとして整理したほうが良い。
- ・元気な高齢者などが地域貢献できる機能づくり・拠点づくりを整備してほしい。
- ・障がいなどがあっても、人とつながっているだけで楽しい、自分の意志で行動出来たら楽しい、ストレスフリーの場所が駅西地区にできたら良い。
- ・誰もが学べるまち、学ぶことを楽しいと思えるようなまちとなるよう、施設も機能も人材育成も含め整備してほしい。
- ・みんなが知っているキャラクターや名物などに関連した施設を作って、新たな観光スポットにするなど、冒険したまちづくりをしてほしい。
- ・行政ならではの縦割ではなく、児童館や図書館、高齢者や障がい者、若者等みんなが使いやすいマルチ施設があると良い。人との交流や繋がりが大切だと見直されている今、わざわざ色々分ける必要はない。
- ・観光と商業と住み分けが必要であり、駅西は市民のための商業施設や娯楽施設などを整備し駅と直結すれば活性化する。
- ・子育てや教育、文化振興に特化したまちづくりを期待する。
- ・商業地よりも、駅直結の文化芸術、コンベンションエリアとして活用して、市民の交流ができるエリアとしてほしい。駅直結の利用ができるのは理想的である。
- ・自然と繋がれるエリアとしてほしい(木のアスレチック、カフェ、飲食店、子育て世代も高齢者や若者も誰でもゆっくり自然の中でピクニックできるような空間)。
- ・商業施設や娯楽施設など、人が集まる場所があると良い。

<p>・商業施設や図書館など、中高生も高齢の方も誰もが頻繁に利用しやすい施設が大きく占めると人が賑わう場所になる。</p>
<p>・観光客のためではなく、市民(特に若者や子育て世代)が楽しめるものをつくってほしい(乳幼児～大人まで年中遊べる室内型施設やプール)。</p>
<p>・箱物(複合・多機能施設)の機能配備については、面積が限られているため、市民文化会館は従来の機能がすべて必要か、総合福祉センター、文化会館、勤労青少年ホームの機能の併用集積はできないかなどの検証をしなければ、子育て支援機能、福祉機能、情報発信機能など新たな機能を有効に組み込むことは難しい。</p>